

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2019-92699 (P2019-92699A)
 【公開日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-023
 【出願番号】特願 2017-223431 (P2017-223431)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 5 日 (2019.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 複数の設定値のうちのいずれかに設定可能な設定手段と、
 設定された設定値に基づいて、遊技の進行を制御可能な遊技制御手段と、
 遊技者にとって有利であり前記有利状態とは異なる所定状態に制御可能な所定状態制御
 手段と、

非特別状態と、該非特別状態よりも前記所定状態による遊技価値が付与されやすい特別
 状態とに制御可能な特別状態制御手段と、を備え、

設定された設定値に応じて、前記特別状態における有利度合が異なる、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

例えば、特許文献 1 には、通常状態に比べて小当り遊技状態に制御される頻度（例えば
 、単位時間あたりの小当り発生頻度）が高い特殊状態に制御可能な遊技機において、特別
 可変入賞装置（アタッカー）に遊技球の流下速度を遅延させる遅延手段を構成すること
 により、小当り遊技状態に制御されたときにアタッカーへの遊技球の入賞割合を高めること
 が記載されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 5 - 1 5 6 9 5 2 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

特許文献1に記載されたような遊技機において、特殊状態に制御可能な遊技機において遊技性に改善の余地があった。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、遊技性を改善し、興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

上記目的を達成するため、手段Aの遊技機は、
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機であって、
複数の設定値のうちのいずれかに設定可能な設定手段と、
設定された設定値に基づいて、遊技の進行を制御可能な遊技制御手段と、
遊技者にとって有利であり前記有利状態とは異なる所定状態（例えば、小当り遊技状態）に制御可能な所定状態制御手段と、
非特別状態と、該非特別状態よりも前記所定状態による遊技価値が付与されやすい特別状態（例えば、KT状態）とに制御可能な特別状態制御手段と、を備え、
設定された設定値に応じて、前記特別状態における有利度合（例えば、獲得賞球期待度）が異なる、
ことを特徴とした。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

この特徴によれば、特別状態（KT状態）に制御可能な遊技機において、設定値に応じて特別状態における有利度合を変化させることができるので、遊技性を改善し、興趣を向上させることができる。